

## 令和元年度 金沢市都心軸交通環境整備検討委員会 議事要旨

日時：令和2年2月12日（水）10時00分～11時30分

場所：金沢市役所7階 第1委員会室

### ◎開会のあいさつ（都市政策局長）

---

今回は本年度実施したカーフリーデーやトランジットモールなどの利用促進に関する取組や、交通量調査などの交通環境整備に関する取組について報告し、次年度の取組方針についても提示させていただきたい。

委員の皆様におかれては、忌憚のない意見を賜りたい。

### ◎委員長あいさつ

---

これまでの取組を思い起こすと、最初にトランジットモールなどの社会実験をしたのは2000年である。そのころから20年間同じようなことをやっているようだが、この間に山側環状道路が開通し、都心軸上のソフト・ハード整備が進み、昔よりかなり環境は良くなったように思う。あと数年で海側環状道路の福久から大河端までの区間も開通し、都心に用のない交通はさらに減るのではと思っている。

今回は様々なデータの活用や交通シミュレーションなどを実施することで、都心の通過交通の状況やイベント時の課題などを把握し、これらへの対策も見えてきているようである。

委員の皆様方におかれましては、忌憚のない意見を賜りたい。

### ◎議事

---

#### 事務局より資料説明

#### 委員長

公共交通利用促進に関する取組について意見や質問はあるか。

#### 委員

カーフリーデーやトランジットモールはとても面白い取組だと思う。

これは要望だが、その際のアンケート調査はカーフリーデー来場者に対して実施したとのことだが、来場者はもともと公共交通への関心の高い人であると考えられる。それ以外のマイカー利用者、例えば21世紀美術館の県外訪問者などにアンケートを実施すれば面白いのではないか。今回実施した駐車場進入規制に対する意見があるかどうかなども、今後検討してほしい。

連節バスについては、市民認知度も上がるので良い取組だと思う。実験を継続することで認知度が上がり、市民に親しまれるようになれば良い。

トランジットモール時の広坂周辺の交通シミュレーションについて質問だが、対策案で直進2車線化が示されているが、路面標示はどういった方法を想定しているのか。また、信号サイクルを変えることは検討しないのか。右折時間を短くすれば効果的なのでは。

#### 事務局

アンケートをマイカー来訪者へも配布するといった意見はごもっともだが、実施方法含めて検討させてほしい。

路面標示について、臨時交通規制なのでそのものを書き換えるのは難しいかもしれないが、看板などで、なるべく走行している人が気づきやすい方法で検討したい。

信号サイクルの調整については、警察との協議が必要である。事前に交通シミュレーションをすることで効果を検証し、また他の交差点への影響も検証する必要があると思う。

#### 委員長

連節バスの実験は続けるのか。

#### 事務局

利便性向上、運転士不足への対策のため実施したが、連節バスの本格導入は費用面や整備場の建設、海外製の車体で修理に時間がかかるなど、すぐの導入は難しいと思う。交通事業者とも協議を続けていきたい。

#### 委員

アンケートについて、公共交通の利便性が向上した場合との前提がある一方、現実には運転手不足で運行本数は減少傾向である。

4月からは1日フリー乗車券をJRバスでも利用できるようになる予定である。限られたリソースでなにができるか工夫を検討する必要がある。関係主体と協力して、バスの利便性、ふらっとバスを含めたあり方を運転手不足の中でどう解決するか検討に取り組みたい。

#### 事務局

交通事業者の現実も聞いている。本数以外の利便性もあると思うので、事業者と連携していきたい。

#### 委員長

減便しながら利便性を上げるのは至難の業と思うが、利用者に不便を感じさせないダイヤの組み方などがあると思う。

#### 委員

アンケートでは、カーフリーデー来場時の交通手段は聞いているか。

#### 委員長

カーフリーデーなので、どういう交通手段で来ているのかは是非聞いておくべき。

#### 事務局

交通手段は聞いており、バスは50%、自動車は18%であった。

#### 委員長

問1で「そう思う」が微減、問6の「よくわからない」、こういう回答している人の属性を聞いたほうがいいのか。

#### 委員

回答者数の年代別内訳はあるか。偏りがあるか。

#### 事務局

回答いただいた方は10～20代が約10%、30代、40代が26%ずつ、50代が19%、60代以上が18%となっている。委員長がご指摘している間に対してのクロス集計はまだしていない。

#### 委員

これからも実験を継続するのであれば、例えば道が狭くカーブもしている武蔵方面や、混雑している南町のあたりでトランジットモールのような実験はするのか。

#### 事務局

将来的にはありえると思うが、現状の交通への影響もあるので、状況を見据えて検討していきたい。

#### 委員長

連節バスについては、金沢も是非入れたほうが良いと思う。新潟市は市が事業者に貸与しているということも聞く。すぐとは言わないが可能性について検討していただきたい。国内製造も始まりつつあり、車体価格が1億円ぐらいになると聞く。耐用年数が5年ぐらいとしても、市民一人あたりの負担は500円/年となり、まるで不可能ではないと思う。

もちろん市が全部負担するのではなく、交通事業者と負担を折半する可能性もあるので、そこも検討いただく時期なのではないか。

#### 委員

カーフリーデーやトランジットモール、連節バス実験の事前準備や当日の運営に関し、市の方には大変ご協力いただき感謝申し上げます。

連節バスの導入に際しては、車体整備の環境整備は大きなハードルであり、車両購入費の補助スキーム、それに加えてバス停に止まったときの乗降の取り扱いに問題はないかなどの課題もある。道路は狭いながらも走行できた印象だが、個別バス停での乗降可能性は精査

する必要がある。また、バックがなかなか難しいなかで、車庫入れの支障など考えていかねばならない。我々も検討しながら考えていきたい。

#### 委員

市民団体代表としては、カーフリーデーを特異日として実施するのではなく、それが普通・常態であるようにして欲しい。

例えば、道路まつりやオリンピック・パラリンピック、GWに合わせて実施するなどの方法があると思う。また、お盆に交通量が減るという統計もあったので、これに合わせて実施してもいいかもしれない。

#### 事務局

費用的な問題もあるので、単独というよりは、別のイベントで歩行者天国を実施しているときの連携が現実的かと思う。引き続き検討していきたい。

#### 委員長

交通環境整備に関する取組についてなにか意見はあるか。

トラカンデータのようなビッグデータが活用できるようになってきているのは、非常にいいことだと思う。

バスレーン拡大実験についてだが、バスにとってはよい効果が見られ、バス専用レーン遵守率も大幅には変わらず、一般車への影響も大きくなかったとの結果だったということだが。

#### 委員

バス専用レーンについて、遵守率を上げるのも重要だが、場所を延伸する、左折混入を工夫するなど、バス専用レーンがもっと有効になるような対策を考えるといいのではないか。また、交通シミュレーションを活用して右折や左折の規制をどのようにすれば良いか、などを検討されてはどうか。

#### 事務局

バス専用レーンの地域的拡大について、現在都心軸以外でも平日は通勤時間帯の利便性向上のために設定をしている状況であるが、さらなる拡大は今のところ考えていない。

右左折規制の変更も、今のところ検討していない。規制に関するところは、効果を見極めて警察とも協議が必要と考えている。

#### 委員

バス専用レーンの地域的拡大については、現状より広げることは考えていない。現状の交通量、バス本数からみてもそこまでの必要性はないと考えている。時間帯拡大のほうは、市の検証も踏まえて検討したい。

右左折規制は住民への影響が多いので、要望があればその都度検討していきたい。

## 委員

朝に混雑するところ、困っているところがピックアップできれば、対策も具体的に考えやすいのではないかと。

## 委員長

山側環状の南部から金沢大学角間キャンパスに向かって右折する際の渋滞がトンネルまで延びることがある。右折時間を伸ばすと解消するのではないかと、個人的に思っている。

## 委員

バス専用レーン時間帯拡大について、少しずつ時間を伸ばしてもらっており、ありがたいことだが、「終日バス専用レーン」が最もわかりやすい。昼間の問題もあるのは承知しているが、是非お願いしたい。

## 委員長

終日化をするのであればまずは土日からではないかと。時間帯は7時～19時が現実的かと。ただ、荷捌き対策が必ず残る問題だと思うので、そこを市が対策するのか、受益者が負担するのか、都心軸上の課題としては残ってくるので、粛々と対策を検討いただきたい。

駐車場の荷捌き対策はどうか。対策もずいぶん実施されてきているが、その後はどうなっているか。

## 事務局

都心軸の一本裏手の通りに設けている、荷捌き車両の停車可能区域などを活用していただいている状況である。

## 委員長

最近が開発圧力が強く、土地の価格が上昇しているという問題もあると思うが、公共である程度荷捌き駐車場の整備はきちんとなさなければならない。前面道路の規制をするのであれば、裏側を使った荷捌きの対策もしてほしい。

## 委員長

取組まとめ及び今後の方針について意見はあるか。

## 委員

自動車の交通量の調査も重要と思うが、公共交通側の調査もしたほうが良いのではないかと。バスの所要時間がかかることを把握されているのか。どこで混んでいるのか、どこのバス停が乗り降りしやすいのか、利用者の要望、公共交通の環境の調査も必要だと思う。

冬にバスを利用するが、小立野のトンネル前がものすごく混んでいる。雨が降ると自動車の混雑に巻き込まれて時間かかる。そういった場所をピックアップして対策を考えたら良いのではないかと。

バス利用者へのアンケートや、バスにもっと乗ってもらえるようなアンケートなども出

来るといいし、町会や公民館に意見を聞くのもいいかもしれない。

#### 委員長

バスの遅延の情報は、最近は把握しやすくなっていると思うが、どうか。

#### 委員

常時データを取れている体制にはなっていないが、乗務員の報告などで把握はしている。

#### 委員長

現場の運転士の意見はもちろん重要だが、このような時代だから、常時観測が重要だ。アクシデント的な遅れと道路構造による常態的な遅れは違う。道路管理者、事業者で協議してどういう渋滞対策があるのかを検討いただきたい。

利用者からの意見、町会や公民館の意見が重要との意見が出たが、何か意見はあるか。

#### 委員

私自身交通に関する様々な検討委員会に出ているが、根本的に、人が集まるイコール車が集まる、という状態になってしまっている。人や車の流れを考えると、公共交通の利便性が最優先かなと思う。連節バスは、むしろ郊外で利用価値を見いだせないか。

#### 委員

私たちは女性センターを拠点としている。中心部に住んでいる人はふらっとバスを利用している。来るのは便利だが、帰りが不便との声がある。歩いて武蔵方面に向かう人もいる。

郊外からはほとんど車で来ている。中心部の人は帰りが都合悪いとの声も聞く。金沢駅方面に向かうバスはあるが、乗り換えが必要。元気な人は自転車、徒歩できている。

交通対策委員会があるが、ふらっとバスの全部のコースを乗ってみるといった研修もしている。

#### 委員長

ふらっとバスは反対周りが無い設計なので、帰りについては仕方がない面もある。

次年度以降の取組方針について、何か意見はあるか。

#### 委員

もう少し時間的、空間的な中長期の展望や、総合計画も絡めながら進捗状況も示してもらえたら意見もしやすい。

例えば、金沢市のSDGsの取組で公共交通の話もあって素晴らしいと思った。北陸新幹線敦賀延伸や日銀跡地、片町商店街の再開発も交通や市民にインパクトがある。そういった中長期の方針もご提示いただければありがたい。

## 事務局

ご意見はごもつともであると思う。交通事業者の運転士の不足の状況もあるなかで、こういったものも見据える必要がある。ただ、不確定要素がある中では中長期の方針を提示することは難しい。

## 委員

中長期の方針を示すのは難しいのはわかるが、検討ぐらひはしないと進まない。

終バス時間が早くなっているのも問題である。どうやって市としてサポートするのか、事業者が考えなくてはいけない部分もあり、検討のレベルもあるが、しないと前へ進まない。

都心軸をどうしていくのか検討していかないといけない。自動車の利便性を減らすことも見据えてシミュレーションもされていることと思うが。

## 委員長

深夜はタクシーも公共交通なので使ってもらえればいい。夜は割増運賃がかかるので、タクシーの回数券があれば良いと思っている。制度的に国が認めていないのかもしれないが、例えば 11 回分を 10 回分の値段とするなどが考えられる。

## 委員

全国的に割引の工夫をしているところがある。制度的な制約はあるが、商店街の協力で利用者が安く利用できる事例もある。

## 委員長

イベント的なものがあるのは承知している。事業の中での割引制度はできないのか。バスには回数券があるのにタクシーはなぜだめなのかと、個人的に思っている。

## 委員

夜のバスは諦めて、タクシーに任せるのがいいのかどうか、その辺りも検討してほしい。終電到着後のバスの是非も検討事項である。郊外部でバスが無理なのであればバス以外の 2 次交通も視野に入るかと思う。

## 委員

公共交通の利便性の話もあるが、バスの乗り方すら分からない人もおり、PR する必要がある。公共交通の良さを末端まで浸透させないと、車が集まってしまふ現状を打破できないという思いがある。

## 委員長

南部方面の交通需要転換で、パーク・アンド・ライドの整備等も重要なのはわかるが、具体的な検討を進めている様子が見られない。適地を購入して本気で検討してほしい。東金沢駅の成功例がある。いい場所にまとまった駐車場があれば効果があり、徐々に転換する人がでてくるはずである。5~10 年ぐらひのスパンで整備するような意気込みでぜひお願いした

い。

#### **委員**

白山市から40番系統のバスをよく使うが、大型商業施設が色々ある。そういったところも使いやすいと思う。

#### **委員**

南部に重点を置くとしたら、全員パーク・アンド・ライドは難しいと思うので、北陸鉄道石川線を活用して乗り換えや定期券の補助をするなど、転換を進める施策も検討いただければと思う。既存ストックを活用した転換の検討も重要である。

#### **委員長**

今回の議論では様々な貴重な意見をいただいた。また、私個人からもお願いをいくつかした。ぜひご検討いただきたい。

#### **事務局**

貴重なご意見に感謝申し上げます。次年度以降も本委員会を継続するので、委員の皆様には引き続きご協力をお願いしたい。

以上